

JHRCA

日本ホテルレストランコンサルタント協会

10月例会のお知らせ

拝啓 清涼の候、皆様方には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。日頃は JHRCA の運営にご支援を賜り誠に有難うございます。さて 2018 年度 10 月の例会は、元大蔵省関税局長・日本銀行理事の米澤潤一氏にご講演をお願いすることになりました。米澤氏は大蔵省入省後、主計局・理財局などで重要なポストを歴任し、日本の財政金融政策に多大な足跡を残しております。今回は我が国の関税・税関行政のトップを務めた経験から「港の門口から振り返る世界と日本の経済」の演目で、税関の役割や国際協力の貢献などを踏まえ、日本と世界の経済情勢の推移を詳しく解説して頂きます。会員並びにビジター皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。 敬具

記

日時 : 2018年10月15日 (第3月曜日) 18:30 開始

場所 : 国際文化会館

東京都港区六本木 5-11-16

TEL : 03-3470-4611(代表) <http://www.i-house.or.jp/>

講演 : 「港の門口から振り返る世界と日本の経済」

経済通で知られる故宮沢喜一総理がかつて、「税関長諸君は門口に立って日々の荷動きを見ているから、生きた経済が分かるのだな」と感嘆された。今年が明治 150 年、来年が開港 160 年という節目に当たり、その門口から見た「貿易は世につれ、密輸も世につれ、そして関税・税関の役割も世につれ」の世界と日本の情勢を解説。

幕末開港当時の外国人が日本をどう見ていたか、不平等条約を脱して先進国の仲間入りする過程、敗戦で灰燼に帰した後の高度成長など貿易の門口から辿る。併せて客船 QE II など地域振興に果たした税関の役割、テロ対策など税関の国際協力の貢献等を解説して頂きます。

講師 : 元大蔵省関税局長・日本銀行理事

米澤 潤一 (よねざわ じゅんいち) 氏

ご経歴 : 1963 年 東京大学法学部卒、大蔵省入省。在英大使館参事官、主計局主計官、
理財局主要課長、横浜税関長、国際金融局審議官、理財局次長等を歴任

1992 年 関税局長。退官後 1994 年日本銀行理事

2004 年-2012 年 公益財団法人金融情報システムセンター理事長

この間、政策研究大学院大学客員教授、同志社大学大学院などで財政金融政策を講義
著書として「ネゴシエーション国際会議の裏表」「国債膨張の戦後史」等。他論文多数

会費 : 会員 ¥3,000 ビジター ¥6,000 (食事、飲み物付)

注) 初めてご参加のビジター様は会費をセミナー開催 5 日前迄に、ご案内メールに記載した弊協会の指定金融機関口座宛お振込下さいませ。

返信期日 : 10月 10日 (水)

返信先 : 下記事務局へ e-mail にてお願い致します。
ビジターとしてご参加いただく場合は、氏名、所属先、役職をご明記下さいませ。

日本ホテル・レストランコンサルタント協会 会長 海老原 靖也

事務局長 細田 高雍 E-MAIL : east_jhrca@nifty.com